

平成 27 年度 向山小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会まとめ

開催日	平成 27 年 11 月 13 日 (金)	会場	錦田公民館
-----	-----------------------	----	-------

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
中郷地区自治会連合会	東大場町内会	錦が丘自治会
三島パサディナ自治会	中自治会	北沢町内会
大場町内会	保護司	中郷地区地域包括支援センター
交通安全母の会	組合立若葉保育園	向山小学校
向山小学校 PTA	錦田中学校	中郷中学校
中郷中 PTA	環境美化推進員会	保健委員会
中子ども会	市子連	向山小学校支援地域本部

※当日参加者 25 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 三島市子ども会連合会：子ども会の必要性、存続していくにはどうしたらいいかご意見を聞きたい。
- 中郷中学校：12/3(木)大場川清掃、1/17(日)PTA 廃品回収を実施予定。「ふじのくにジュニア防災士」習得に力を入れている、活躍できる場を与えてほしい。
- 中郷地区自治会連合会：防災訓練など連合会の活動状況を把握し、ご参加頂きたい。
- 若葉保育園：月 1 回未入园児対象の園庭開放を実施中。園の情報を回覧板でお知らせすることが可能であるならば、その方法を教えて頂きたい。
- 中子ども会：1/10(日)どんと焼きを予定。廃品回収(年 6 回)、バス旅行など子どもが喜ぶ行事や人間関係の絆を深めていくことを次へと引き継いでいきたい。
- パサディナ自治会：用具調達の為、防災訓練の日程や内容について情報交換を行いたい。
- 大場町内会：地域の連携を取る為に祭りは重要。どの様に若い人の参加を増やすか課題。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
①防災組織の体制を強化するためには？	2人
②子どもたちの地域での活躍の場を具体的に作り出そう！	12人
③地域の行事の参加者を増やすためにできることを始めよう！	9人
④その他	0人

※アンケートの結果、②と③に分かれ話し合いました。

テーマ別会議①：「子どもたちの地域での活躍の場を具体的につくり出そう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生が障がい者施設に職場体験 ・交流を求めている施設あり（校区内に4施設あり） 		<ul style="list-style-type: none"> ●学校と地域施設の交流 ・地域の障がい者団体（施設）と子どもたちが交流する ・大場川清掃をしている南中生と交流の場を小学生に広げる
<ul style="list-style-type: none"> ・向山学区の子ども会が盛ん ・高学年の子はお願いすれば動いてくれる ・子どもも大人も意識の変化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども会 ・失敗しても良い場（いろいろチャレンジしてほしい） ・子ども会縦のつながり共有できる場 ・子ども会卒業後、忙しい中学・高校を卒業し、消防団に入ってもらおう。消防団で地域の活動を盛り上げて 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもに任せる ・子どもたちは求められれば参加したい⇒子どもに任せる場 ・企画作りは子どもができないか？ ・大人は安全などのフォローをする
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団に入っていて参加できない 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ少年団やクラブチームとの調整 ・クラブチームへの呼びかけ（子ども会活動の参加協力） ・早めにクラブの日程を教えてください調整する 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の子どもの縦のつながり ・子どもの自主性を育てる ・将来の地域コミュニティづくりにつながる
<ul style="list-style-type: none"> ・しゃぎりを始めた（東台場） ・大場のしゃぎりが手伝ってくれる ・周辺の団体に協力依頼⇒交流活発 <ul style="list-style-type: none"> ●学校は、日程調整が大変 ・地域で計画した内容を事前に学校に相談してもらえると参加しやすい日程を提案できる（参加を勧める） ・学校側が日程を合わせるの難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども×親 ・子どもを連れて町内の美化活動に参加する ・新しい企画は大変。既存のイベントに活躍の場を作る ・子と親は距離をとった方が子ども同士の交流は深まる ・町内一斉清掃に子供も参加（各家庭1人ではなくする） ・親の意識を変えたい。協力を求めたい ・仕事が増えて大変という親の意識⇒向山小おやじの会にサポート依頼できないか ・廃品回収に親が積極的に参加したらどうか ・保護者が地域行事に参加することにより園児も参加可 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ボランティアチームづくり ・小学生はボランティアクラブ、中学生は防災クラブを発足したい（ボランティア部に町内会から仕事を依頼する） ・地域でのボランティアチームを作り、学校の活動（美化、お年寄りと交流等）⇒地域の輪が広がる ●公民館の利用 ・公民館を拠点に放課後集まるボランティア部ができないか。活動をおやじの会がサポートできる ・多団体が関わる場にしたい（例：子ども会・おやじの会など） ・子どもが遊べる・交流できる場として集会所を開放したい⇒けがや安全責任の問題有 開放には課題がある
<ul style="list-style-type: none"> ・園児が地域で参加できること 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園に地域活動の情報ほしい ・情報発信にはホームページ。パソコン等がない家庭は… ・園のお便り等で園の様子を知ってもらおう（行事など） 	

※下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

テーマ別会議②：「地域の行事の参加者を増やすためにできることを始めよう！」

	現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
校区祭	<p>●校区祭が上手くいかない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出場種目が少ない（子どもはたくさん出場したい） ・開催方法が立ちいかない ・校区祭が不人気で参加者少ない ・役員しか参加していない ・募集しても応じてくれない ・駐車場がない、会場まで遠い、不便 ・子どもが少ない ・高齢化 ・向山小学校区が広すぎる ・人口 1 万人の向山の校区祭を小学校のグラウンドで開催するのは不可能（全員呼べない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも企画に関与してはどうか？ <p>●必要性や魅力がある行事は参加者が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芋煮会の方が効果ある ・行事をやる意味があれば参加する ・参加したくなる工夫（魅力があれば人が集まる） ・校区祭に参加することができなくなった町内会では、校区祭に代わるハイキングを開催 	<p>●校区祭のやり方を工夫する（見直しが必要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区祭、やり方に一考を・・・ ・おもしろい種目を取り入れる ・運営面に子供を参加させる ⇒近日開催される校区祭の会議において、連絡会で出た意見を報告していただく
防災訓練	<p>●防災訓練の参加者が低迷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の参加者を増やしたい ・そもそも消防団が少ない（少子高齢化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線を使って行事やイベントを宣伝すべき 	
組織運営の問題	<p>●様々な活動を主催する地域の組織運営が課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員のなり手がいない ・自治会長は多忙すぎる ・地域に行事が多すぎる ・地域の行事が役員は両立しにくい ・役員は 60 代後半～70 代前半に依頼 ・実働部隊は自治会 ・役員の任期短い⇒改善する前に交代してしまう ・保健委員の地域行事への参加者があまり見られない 	<p><原因①> 必要性の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織が必要なくなった <p><原因②> 負担増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面倒くさい ・役員の仕事増えている ・自治会役員にある行事が多すぎる 	<p>●役割分担して負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を人に任せる

※下線部は、平成 27 年度第 1 回連絡会における意見

